

第 39 期
(2010年7月期)

第2四半期決算説明会

2010年3月25日



総合商研株式会社

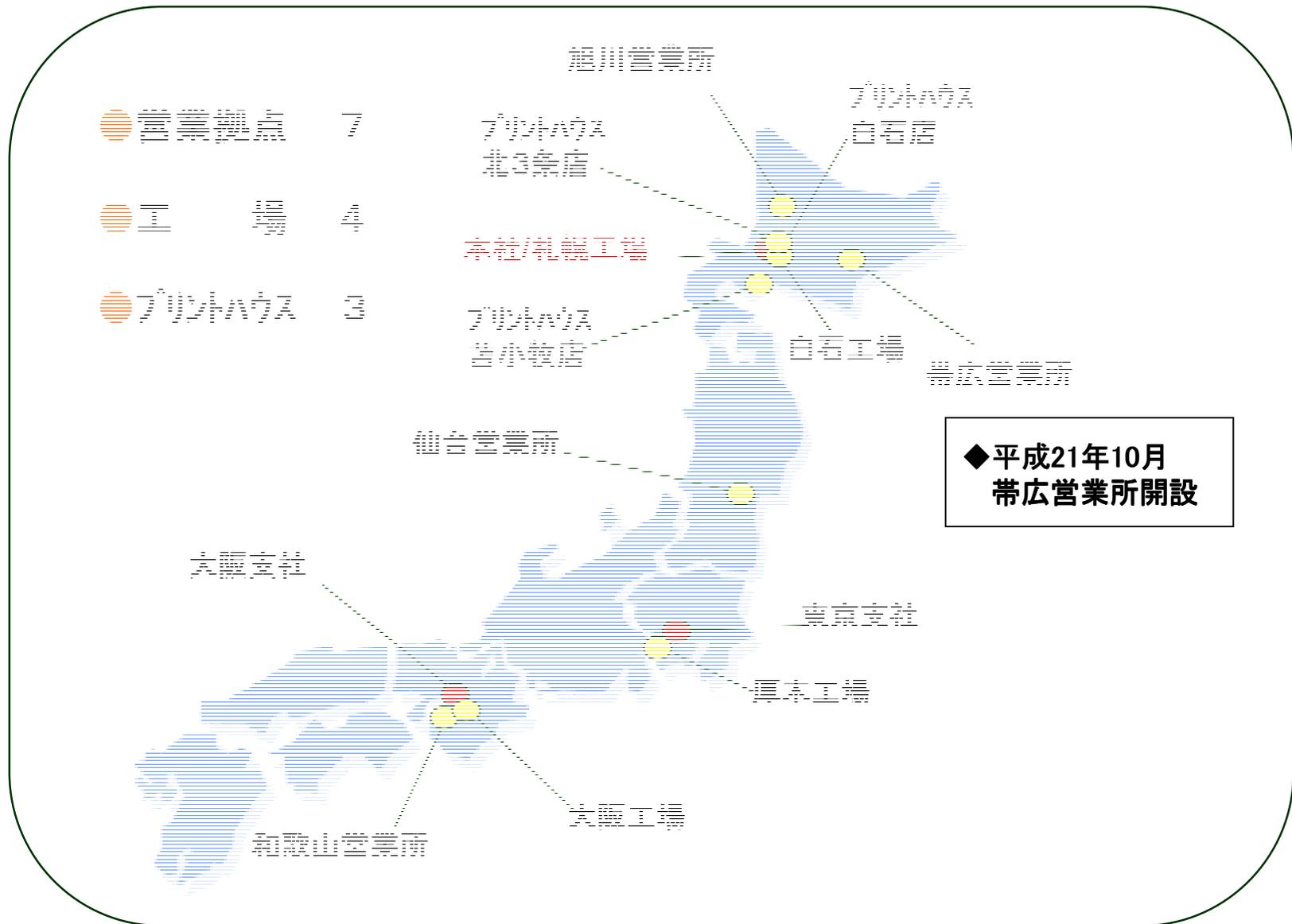
JASDAQ

証券コード: 7850

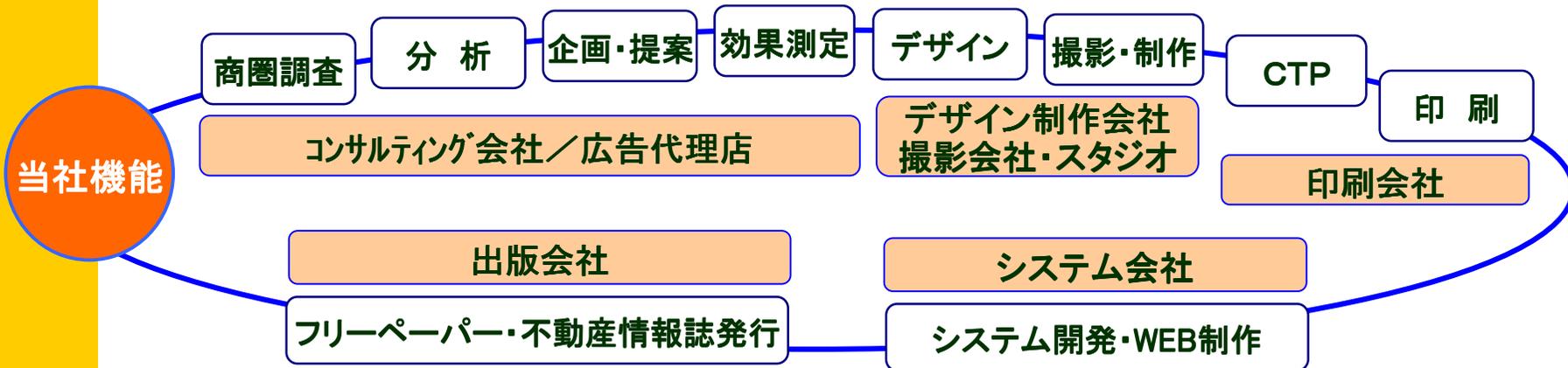
第39期 第2四半期決算説明会 INDEX

1. 拠点所在地
2. 当社の事業展開
3. 決算概要
4. 損益のポイント
5. 売上高・利益の推移
6. 貸借対照表
7. 経営指標の推移
8. 商業印刷事業
9. 年賀状印刷事業
10. 経営の基本コンセプト
11. 通期業績予想
12. 通期業績・経営指標の推移

1. 拠点所在地



2. 当社の事業展開



販売促進の支援 (主な販促機能)

- ◇ GIS、FSP、TPS
- ◇ DM
- ◇ 販売促進システム
- ◇ 味覚データベース
- ◇ 地域情報誌「ふりっぱー」
- ◇ イベント企画・実施
- ◇ IT支援、WEBサイト制作
- ◇ サイン・ディスプレイ
- ◇ ポスティング

総合的な販促媒体の
提供による新たな
受注の創造

外部環境

- 個人消費の低迷
- IT技術の進化
- 販売促進の手法の変化
- 広告宣伝費の抑制と広告効果の追求
- 業界競争の激化
総広告費の2年連続低下、
価格競争、ボーダレス化

プライバシーマーク

水なし印刷

ISO9001

3. 第2四半期 決算概要

単位: 百万円

	2009.01	2010.01	増減	前期比
売上高	6,125	6,949	824	113.5%
売上原価	3,974	4,847	872	122.0%
売上総利益	2,150	2,102	△48	97.7%
販管費	1,587	1,743	156	109.8%
営業利益	563	358	△204	63.7%
経常利益	557	355	△201	63.8%
四半期純利益	322	188	△133	58.5%
売上総利益率	35.1%	30.2%	△4.9%	-
同営業利益率	9.2%	5.2%	△4.0%	-
同経常利益率	9.1%	5.1%	△4.0%	-
同四半期純利益率	5.3%	2.7%	△2.6%	-
1株当たり四半期純利益	105.58円	61.78円	△43.80円	-

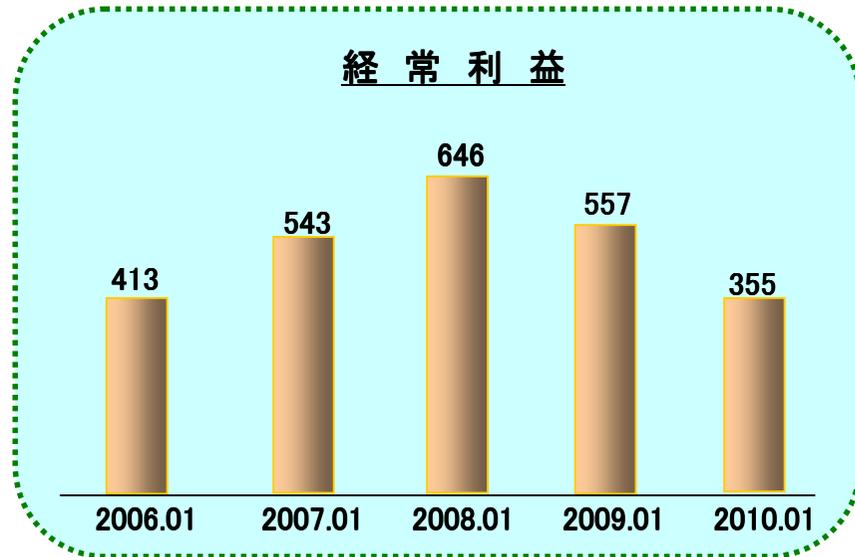
	2009.01	2010.01	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△131	△230	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△215	△237	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	901	764	△136
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,573	1,466	△106

4. 当第2四半期 損益のポイント

売上高 → 増収 824百万円増加(前期比13.5%増)	影響要因と対応	利益 → 減益
<p>商業印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規受注拡大・既存先のシェアアップにより、売上高851百万円増加(前期比 21.9%増) ○北海道・本州共に売上高増加 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道:492百万円増(24.8%増) ・本 州:359百万円増(19.0%増) <p>年賀状印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ○名入賀状の取扱件数減少 ○パック年賀状の取扱件数増加 ○上記により、売上高25百万円減少(前期比 1.2%減) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プリントハウス(3店舗)売上高1百万円減少(前期比 3.0%減) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆印刷用紙等の材料費の高止まり ◆取引先の広告宣伝費の抑制・削減 ◆競争の激化 ◆受注単価の低下 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎商業印刷の受注拡大と増収による利益確保 ◎内製化 ◎経費削減 ◎採算重視の受注 <p style="text-align: center;">↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆取引先の拡大・売上増加に伴う人員体制の強化(人件費の増加) 	<p>営業利益 358百万円(前期比 36.3%減)</p> <p>経常利益 355百万円(前期比 36.2%減)</p> <p>税引前四半期純利益 330百万円(前期比 40.6%減)</p> <p>四半期純利益 188百万円(前期比 41.5%減)</p>

5. 第2四半期 売上高・利益の推移

単位:百万円



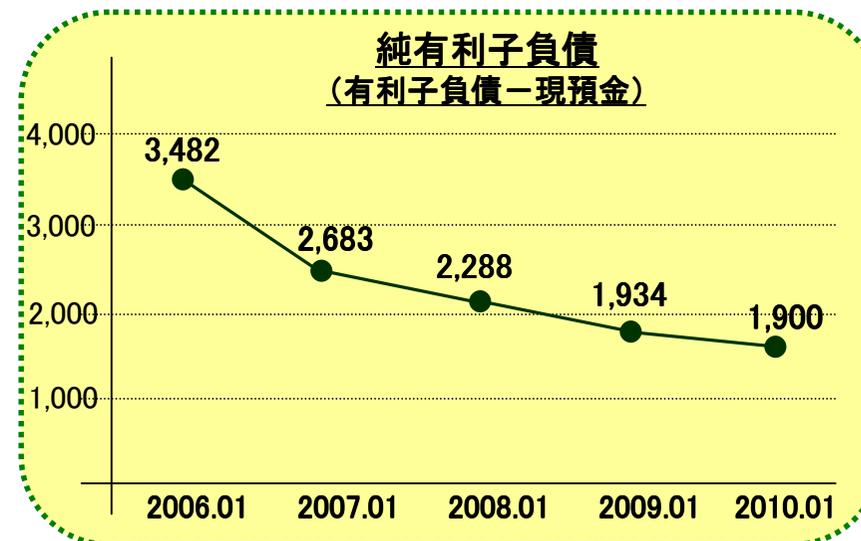
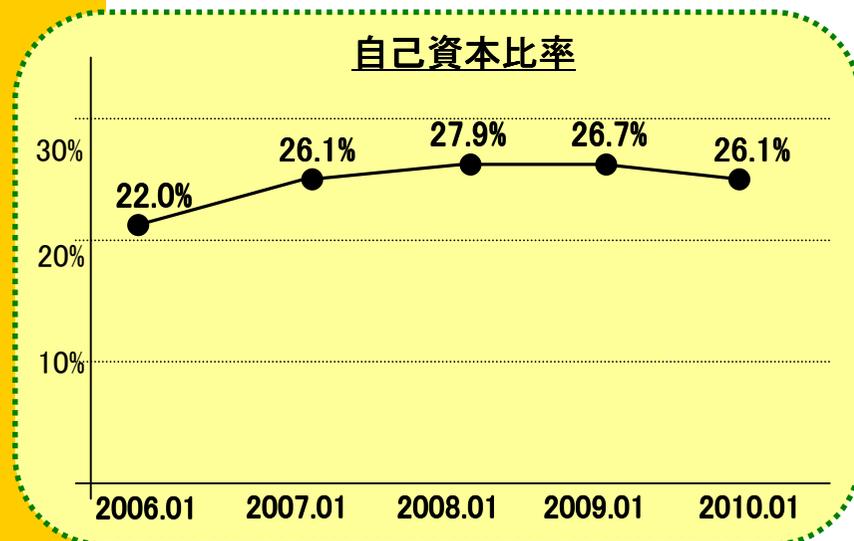
6. 第2四半期 貸借対照表

単位: 百万円

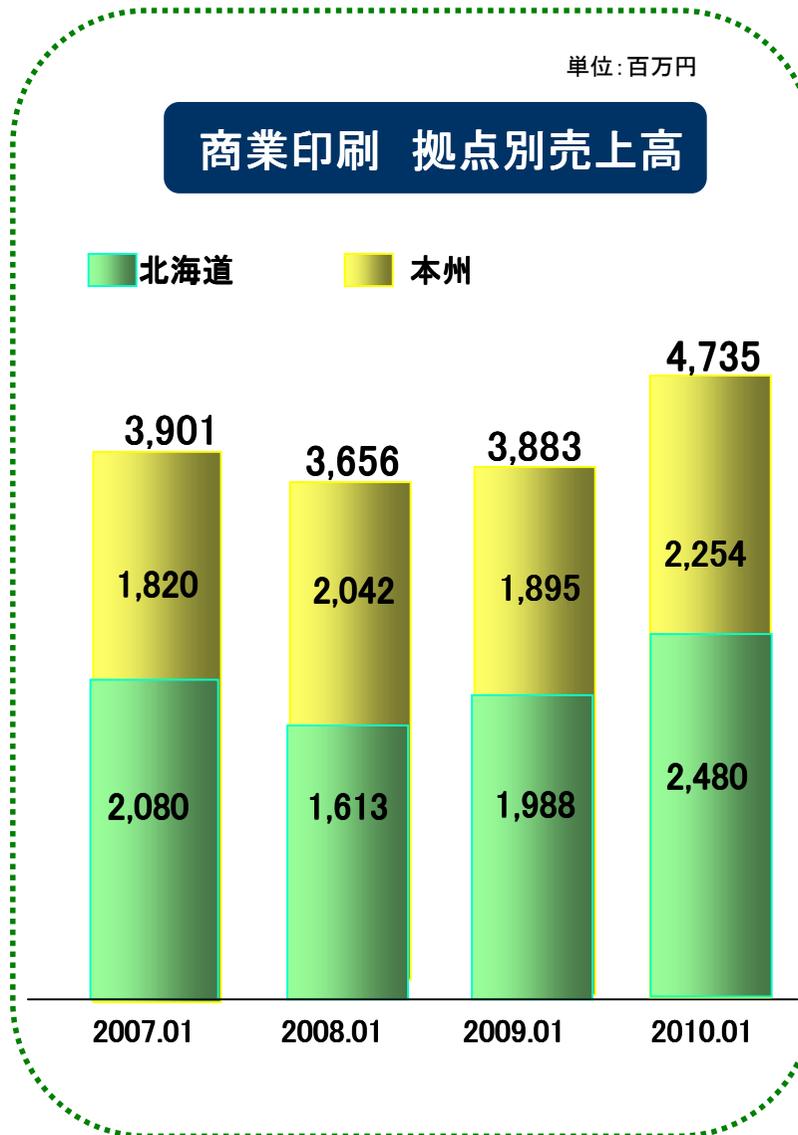
	2009.01	2010.01	増減		2009.01	2010.01	増減
現金預金	1,573	1,466	△106	仕入債務	1,426	1,576	150
売上債権	1,859	2,068	209	短期借入金	1,231	1,471	240
たな卸資産	256	255	0	その他	684	614	△70
その他	665	500	△165	流動負債計	3,341	3,662	320
流動資産計	4,354	4,291	△63	長期借入金	1,653	1,333	△319
有形固定資産	2,279	2,245	△33	その他	592	500	△91
無形固定資産	164	151	△12	固定負債計	2,245	1,834	△410
投資等	824	752	△71	負債合計	5,587	5,496	△90
固定資産計	3,268	3,150	△118	純資産合計	2,035	1,944	△91
資産合計	7,622	7,441	△181	負債純資産合計	7,622	7,441	△181
■総資産181百万円減少 ・流動資産 63百万円減 ・固定資産 118百万円減 ・流動負債 320百万円増 ・固定負債 410百万円減 ・純資産 91百万円減				自己資本比率	26.7%	26.1%	△1.6%
				ROE	16.3%	9.5%	△6.8%
				ROA	7.7%	4.7%	△3.0%
				1株当たり純資産額	665.71円	635.92円	△29.79円

7. 第2四半期 経営指標の推移

単位:百万円



8. 商業印刷事業



■売上高 4,735百万円
(前期比 851百万円増)

■本州地区売上高 359百万円増
(前期比 19.0%増)

■北海道地区売上高 492百万円増
(前期比 24.8%増)

→既存取引先のシェアアップ、新規取引
拡大により増収

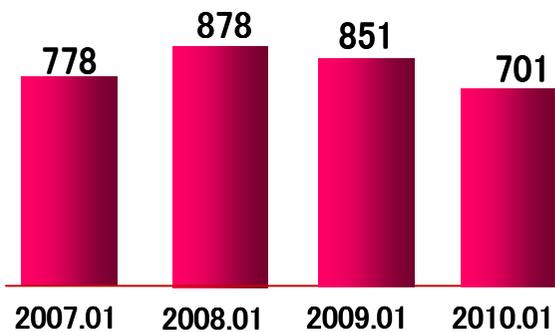
■ 北海道 対 本州の売上比率

北海道の売上比率拡大
(前年同期 51:49)→(当期 52:48)

9. 年賀状印刷事業

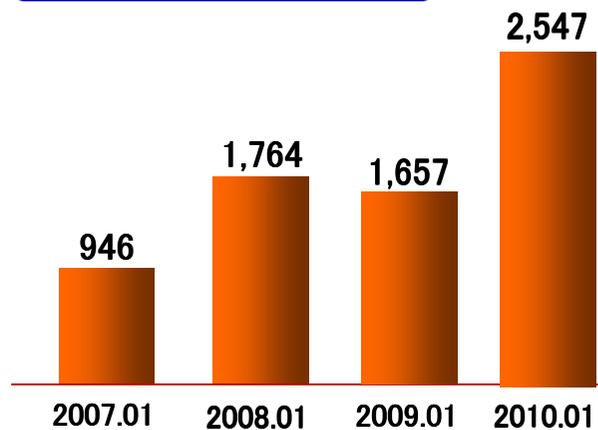
名入年賀状

単位:千件



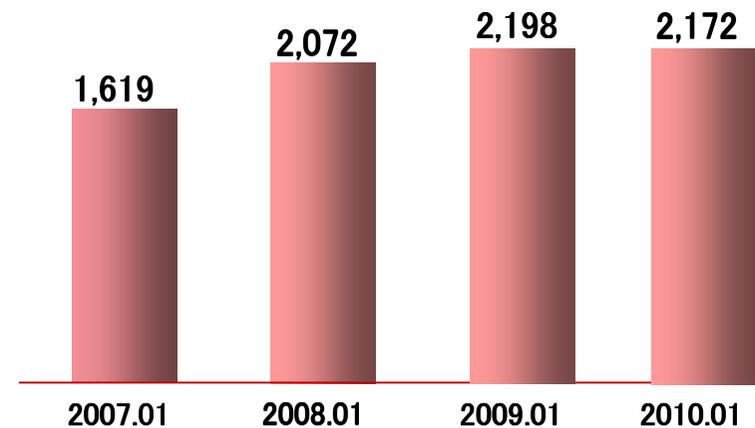
パック年賀状

単位:千パック



売上高

単位:百万円



- 名入年賀状の取扱件数減少
- パック年賀状の取扱件数は大幅に増加
- 売上高は前期比1.0%減

10. 当社の経営の基本コンセプト

時流を先取りしつつ
お取引先に対して最適かつ最良の販売促進支援を行い
付加価値の高いサービス・商品を提供する

そのために

- ① 顧客支援機能の強化と将来に向けた事業の構築と展開
- ② 営業拠点の拡充と強化
- ③ 事業採算の向上とコスト削減による利益率の向上

11. 第39期 通期業績予想

外部・内部 要因

- 印刷用紙等の材料費の高止まり
- 広告宣伝費の抑制・削減と効果重視
- 受注単価の低下
- 折込広告等媒体の減少
- 業界競争の激化
- 売上拡大に伴う人員体制の強化(人件費の増加)

■ 受注の拡大(売上の増強)

◇ 新規取引の拡大による売上高増強

◆ 総合的な販促媒体の提供による新たな受注の創造

Web・携帯サイト・ネット化への対応、販促総合プロデュース・マーケティングの強化、フリーペーパー〔情報誌〕事業の拡充(紙とWebと携帯サイト)、サイン・ディスプレイ・デジタルサイネージ部門の拡大

■ 内製化とコスト管理の強化によるコストダウン

◇ 印刷・制作・撮影業務の内製化の推進

◇ 徹底したコストの削減と採算重視の受注

単位: 百万円

	2009年7月期 実績(第38期)	2010年7月期 予想(第39期)	増減	増率
売上高	10,525	11,500	975	109.3%
営業利益	256	150	△106	△41.5%
経常利益	253	155	△98	△39.0%
当期純利益	118	50	△68	△57.9%
1株当たり当期純利益	38.81	16.35	△22.46	-

12. 通期業績・経営指標の推移

		第32期 (15年7月)	第33期 (16年7月)	第34期 (17年7月)	第35期 (18年7月)	第36期 (19年7月)	第37期 (20年7月)	第38期 (21年7月)
売上高	百万円	8,481	8,630	8,327	8,876	9,017	9,364	10,525
営業利益	百万円	△222	△130	388	402	377	384	256
経常利益	百万円	△359	△247	217	295	333	381	253
税引前当期純利益	百万円	△367	△553	77	221	372	283	182
当期純利益	百万円	△343	△623	74	324	275	216	118
売上総利益率	%	26.9	28.8	32.8	32.8	33.9	34.0	29.1
純資産額	百万円	1,442	818	1,051	1,363	1,613	1,768	1,799
総資産額	百万円	6,635	6,648	5,835	5,634	5,571	5,727	5,992
1株当たり純資産額	円	589.44	334.53	356.67	462.59	527.53	578.20	588.54
1株当たり当期純利益	円	△140.33	△254.52	26.88	110.03	91.27	70.95	38.81
自己資本比率	%	21.7	12.3	18.0	24.2	29.0	30.9	30.0
配当性向	%	—	—	27.9	13.6	16.4	21.1	38.6
ROA	\$	△5.7	△3.7	3.5	5.1	6.0	6.8	4.3
ROE	%	△21.1	△55.1	7.9	26.9	18.5	12.8	6.7
期末有利子負債額	百万円	4,115	4,508	3,458	3,163	2,829	2,613	2,608

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成段階での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

[お問い合わせ先]



総合商研株式会社 (007-0802 札幌市東区東苗穂2条3丁目4-48)

TEL 011-780-5677 FAX 011-780-3288

URL: <http://www.shouken.co.jp/>

Eメール: postmaster@shouken.co.jp

企画管理本部 経営企画チーム

IR担当役員 原田 正之